

Vol.
001

BUNBU

関西国際学園 初等部 教育白書

Elementary School
Education white paper

関西国際学園 初等部

スケジュール

8月23日(土) 第3回 学校説明会

▶ 9月13・14日 第1回 入学試験

9月16日(火) 第5回 公開授業／授業体験

9月20日(土) 第4回 学校説明会

10月 8日(水) 第6回 公開授業／授業体験

10月19日(日) 第5回 学校説明会

▶ 11月15・16日 第2回 入学試験

11月29日(土) 第6回 学校説明会

12月14日(日) 第7回 学校説明会

▶ 1月24・25日 第3回 入学試験

入学に関してのご相談は、
お気軽にお問い合わせください。

関西国際学園 初等部 TEL.078-882-6680



Special 茂木 健一郎氏

「偏差値教育が日本をダメにする！」

バイリンガル教育とは

国際的な視野とは

国際バカロレアとは

学園長 著書より



KANSAI INTERNATIONAL ACADEMY

Special

偏差値教育が日本をダメにする！

茂木 健一郎 氏 講演会 2014年7月5日 神戸芸術センター

ハーバード大学の偏差値を知っていますか？

茂木 健一郎 kenichiro mogi

脳科学者

1962年10月20日東京生まれ。

東京大学理学部法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。

理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。専門は脳科学、認知科学。

「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の間を研究するとともに、
文藝評論、美術評論などにも取り組んでいる。

2005年、『脳と仮想』で第四回小林秀雄賞を受賞。

2009年、『今、ここからすべての場所へ』で第12回 桑原武夫学芸賞を受賞。

2006年1月～2010年3月、NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター。

2012年、日本人で初めてTEDカンファレンスの舞台に立った事でも注目を浴びる。

他、現在も、様々なフィールドで活動している。

「はじめに」

まず、基本結論から言えば関西国際学園のやっている教育は素晴らしいと思いますし、そこにお子さんを入れようと決断された親御さんも素晴らしいと思います。

「地獄の1ヵ月」

高校1年の時バンクーバーに行ったんですよ。僕、中学3年間英語拔群だったんですよ。1ヵ月カナダに行って、いきなり15歳の私は、トレバー(10)とランディー(8)に人生ゲームをさせられたんですよ。

ネイティブの子どもは容赦ないですよ。奴ら、俺がなんか楽しいこと言って楽しませてくれると思ってるわけ。この超アウェー感分かる？そこから僕の地獄の1ヵ月が始まったんだ。

「違うってこと」

小さく前になれの日本の教育になんの疑問も持たないで、そん中で僕はスーパー優等生だったわけでしょ、生徒会長もやったし。でね、その時耳にした話で南アフリカの人が新婚旅行に1年行ったっていうんですよ。

しかもお肉屋さんですよ。特にお金持ちでもないんですよ。

そんな時に思ったんですよ、(カナダとは)生活のスタイル(way of style)が全然違うって。

「僕の戦い」

東京学芸大学附属高校2年生の時に「せきさん」という女の子がアメリカンフィールドサービスって言って、アメリカの高校に1年間留学して帰ってきたわけよ。2日目いきなり学校に来て、教室の前で大演説して「あなた達は全然ダメ、何も考えてない！何もわかってない！」と言って次の日学校辞めちゃったのよ。ただ、正直当時僕はなぜ彼女がそんなに怒っているのか分からなかったわけ。で、今同じ思いを日本の大学でレクチャーをしながら経験をしています。

僕は日本の教育がいかにダメなのかを彼らに話すんだけど偏差値エリートできた学生達は、自分たちの生き方を否定されてると思うわけ、おかしいじゃない、僕だって偏差値エリートだったんだよ。

だけど、おかしいと気づいたら言うのがふつうなのに。そこで今僕は戦ってます。

「違う！」

学生時代に日米学生会議に出席してね、1ヵ月アメリカの大学生としゃべった時に全てに気がついたんだ。別にアメリカの教育がいいとか悪いということじゃなく「とにかく違う！何から何まで違う！」



「偏差値という妖怪」

偏差値という妖怪と俺は日夜戦っている。東京の子ども達は半分は受験するわけよ、あいつらの頭、偏差値に洗脳されてるから。NのうけんとかYおおつか、Sピックスみたいな悪の帝王がいるわけ。この中学の偏差値は！なんて洗脳してる。だからさ、こう聞いてやったわけ「お前らさ、ところでハーバードって偏差値いくつか知ってる？」子ども達は80はあるんじゃないの？とか言ってます。

で、そこで発表します！ハーバードは偏差値はありません。するとジェジェジェって…これは古いか(笑)

「そうではない世界」

ハーバードってのはさ、ビルゲイツのような超オタクや高校時代からコンピューターの会社をやってる人、プロ級のバスケット選手のような人までいるんだよ。逆に我が母校の東京大学ってのは、野球部が80連敗とかしてる訳、それが何を意味するかっていうと、野球棒で入ってきてる人がいないってことなんですよ、田中のマー君が野球すごいから東大来いよってことをしていないんですよ。

ハーバードはバスケットにとにかく長けている学生もいる。ハーバードっていうとすごい賢いイメージがあるでしょ！いや別にバスケットをしている人も当然賢いと思うけど、そこには多様性があるんですよ。だから決して「偏差値」という概念ではくくれないところが、日本の学生は偏差値で洗脳されているから、ここからここまでは賢いと思っ込んでいます。

そうではない世界があるってことを僕は大学の時に知ったんですよ。

「15歳の青年」

15歳の青年が、すい臓がんの検査方法を開発したんだ。どれくらい勉強したかという、インターネットで300の論文を読みあさったんだ。優秀といわれる学校がそのような事をやっているかという、やっていないですよ。例えば灘中のような学校ではね…。

この青年の知り合いがすい臓がんで亡くなったんだよ！その時すい臓がんの検査は30%以上を見落としていたんだ、検査代もとても高くてね。それがわかった頃にはもう遅い！悲しいじゃない。

彼はなんとかしたかったその思いだけなんだ。自分で必死で考え、これだと思う検査方法を200カ所の大学に手紙を送って、1カ所だけ返事が返ってきた。

こういう15歳をこの日本って国が作っていたら、もうちょっと明るい国になってるんじゃないかな？



金太郎飴のような学生をはいっ!はいっ!はいっ!と作っているようでは、日本のこれから先は暗いですね。

この彼のような15歳が今の日本の教育システムからはでてきようが無いわけ。

なんといっても、日本の教育は最高に優秀な「事務の人」を作るように出来ているんだ。

「外国語教育」

脳科学的に申しますと、外国語教育について2つの考えがあります。

1つめは、「鉄は熱いうちに打て！」早い方がいいですよという考え。

もう1つは、日本語の教育(母国語)をちゃんとしてからの方がいいですよという考え。

おそらくご父兄さまも悩まれると思います。

結論を言いますと、子供のころからバイリンガル教育にさらされることは、脳に悪影響を与えません。

なぜか? そういう環境で生きている人がいるからです。

インドという国は、公用語は、英語とヒンズー語ですが、数百の言語がある。であの国は、お店へ行って

数カ国語を聞かないといけない環境にある。

人類の歴史の中で、異なる言葉で人々が生活するのは、当たり前! 例外はない!

バイリンガル環境にいるからといって脳に悪影響はもたらしません。

「世界の中での日本」

パリでは「ひぐま」というラーメン屋が毎日大行列になる人気っぷり。

日本食とか漫画は強い。日本人女性も世界一の評価を得ているというのは皆さん周知の事実です。

こういう日本文化は強いが、大学が弱い! 大学は終わっていますよ。

自分で教えていてそう思います。だめです! 勝つ見込みないです!

早稲田の教養学部で10年以上教えていますが、英語で脳科学や、認知科学などを教えているんだけど、

毎年もう大人気で定員100名で毎年2倍の倍率があります。

毎回、授業で本を紹介するんだけど、あるとき一人の女生徒が次週まで1冊の本を読みあげていたので、

驚いて、君どこの高校? って聞いたら、スイスの寄宿舎のある高校出身っていわれました。日本の普通の教育

課程では、この本がいいよって紹介したからといって、次の週までに読み上げてくるような学生はいません。

日本の大学で弁護士になりたければ、日本の法律を学べば、ある程度勉強したらなれます。しかし、理系の

ようなクリエイティブな職に就きたいと考えている人は、日本の大学は、バットチョイスですね!

日本は、政府が先頭に立って教育を変えようとしています、これは無理です。無理です!

関西国際学園は文科省の補助を受けてないから苦労してるみたいだけど、いいんだよ。

新しい教育はそういうところから始まるんだから。

「最後に」

ハーバード大学ではマイケル・サンデルが立派な授業をしています。週に3回45分の授業をするだけです。

ティーチングアシスタントという人たちがいて、マイケルがこう言いたいんだよねとか言うと、10人

くらいで彼をフォローする。

授業評価は、ティーチングアシスタントがする。だからマイケルは、授業にだけ集中することができる。

もう日本の大学の授業は、目も当てられない!!

俺の授業は、すごいですよ!

見に来てくださいね(笑)!

日本の中にも文科省の教育を相手にしない富裕層ができています。

私のようにトラディショナルな教育を受けてきた人間にとっては、非常にいろんな思いがありますね。

バイリンガル教育とは

バイリンガルであることはたくさんの利点があります。

より多くの人とコミュニケーションをとることができ、世界中に可能性が広がります。

今の世界の人口の半数以上はバイリンガルないしマルチリンガルです。

しかしモノリンガルの社会でバイリンガル教育を行うのは簡単ではありません。

インターナショナルスクールに通う日本人の児童・生徒の多くは、バイリンガルになる道を歩んでいると
思っていることでしょう。

日本語と英語を問題なく使い分けて会話をすることができるようになります。

しかし一般的な国語力、特に読み書きの面で欠落してしまうことが多くあります。

日本の企業で活躍することは勿論できませんし、英語圏で仕事をして、英語のネイティブスピーカー以上に有利になることはありません。

さらに「セミリンガル」と言って、どちらの言語も一定のレベルで使えないようになってしまう人もいますし、自分のアイデンティティーに悩む人もいます。

最も効果的で将来役立つバイリンガル教育は、まず母国語においてしっかりとした基礎を確立させたものだと信じています。

初等部では、すべての教科を日本語と英語で学びます。高いレベルの読み書きは勿論、教科を超えて活用できるさまざまなスキルも両言語で学び、また日本語と英語を用いてさまざまな形でコミュニケーションがとれるよう訓練していきます。

そして何よりも大切なのは、自分のアイデンティティーについて考え、自分が何者であるかを探り、自分の国や文化を深く知ることです。

これを土台としてはじめて他の言語やスキル、知識、概念の習得が子ども達の将来を切り開いていくのです。

国際的な視野とは

社会と経済のグローバル化が進み、「国際教育」の需要が高まっています。

国際的な視野を育むには、外国語を学ぶだけでは不十分です。

小さいときから国際社会に関連したテーマや問題に目を向け、真剣に考えさせることが重要です。

関西国際学園の教師陣は多国籍で、日本人教師も含め豊富な国際経験を持つ教師が多数そろっています。

世界のさまざまな出来事や状況を差別意識や偏見を持たずにアプローチし、違いを認め、受け入れ合える広い心を育みます。

今の子ども達の多くは、将来、異なった文化、習慣、価値観、宗教観、世界観を持った人々と共に仕事をするでしょう。

その中で日本人らしさを保ちつつ、違いを乗り越えながら成功していくためには、子どもの時から国際的な経験を積ませることが不可欠です。



国際バカロレアとは

インターナショナルスクールの卒業生に、国際的に認められる大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確認するとともに、学生の柔軟な知性の育成と、国際理解教育の促進に資することを目的として1968年に国際バカロレア機構が発足した。国際バカロレア機構は、スイスのジュネーブに本部を置き、認定校に対する共通カリキュラムの作成や国際バカロレア試験の実施及び国際バカロレア資格の授与などを行っている。

国際バカロレアには、3歳～19歳の子どもの年齢に応じて3つのプログラムがある。



(1) PYP (Primary Years Programme: 初等教育プログラム) 3歳～12歳

(2) MYP (Middle Years Programme: 中等教育プログラム) 11歳～16歳

(3) DP (Diploma Programme: ディプロマ資格プログラム) 16歳～19歳

DPの課程を修了し、ディプロマ資格取得のための統一試験に合格することで、国際バカロレア資格を取得することができる。

国際バカロレア資格は、国際的に認められている大学入学資格の1つであり、日本においても昭和54年に「スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で18歳に達したもの」について、大学入学に関し高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者として指定された。

国際バカロレアの認定校

3つのプログラムは、全て導入することも、どれか1つのみ導入することも可能となっており、国際バカロレアに認定されている学校数は、2014年6月現在、世界147か国において約3,791校である。

日本における認定校の数は27校である。

日本のIB認定校数(DP):19校

- ▶ セント・メリーズ・インターナショナルスクール(東京都) ▶ カナディアン・アカデミー(兵庫県)
- ▶ サンモール・インターナショナルスクール(東京都) ▶ 横浜インターナショナルスクール(神奈川県)
- ▶ 清泉インターナショナルスクール(東京都) ▶ 関西学院大阪インターナショナルスクール(大阪府)
- ▶ 加藤学園暁秀高等学校・中学校(静岡県)※ ▶ K・インターナショナルスクール(東京都)
- ▶ 広島インターナショナルスクール(広島県) ▶ 福岡インターナショナルスクール(福岡県)
- ▶ 名古屋国際学園(愛知県) ▶ 玉川学園K-12・玉川大学(東京都)※ ▶ AICJ中学・高等学校(広島県)※
- ▶ 立命館宇治高等学校(京都府)※ ▶ ぐんま国際アカデミー(群馬県) ▶ 同志社国際学院(京都府)
- ▶ ホライゾン・ジャパン・インターナショナル・スクール(神奈川県)
- ▶ インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン(東京都)
- ▶ リンデンホールスクール中高等部(福岡県)※

※は一条校

一条校は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学(短期大学および大学院を含む)および高等専門学校とされている。学校教育法に規定があるもの。

国際バカロレアの3つのプログラム

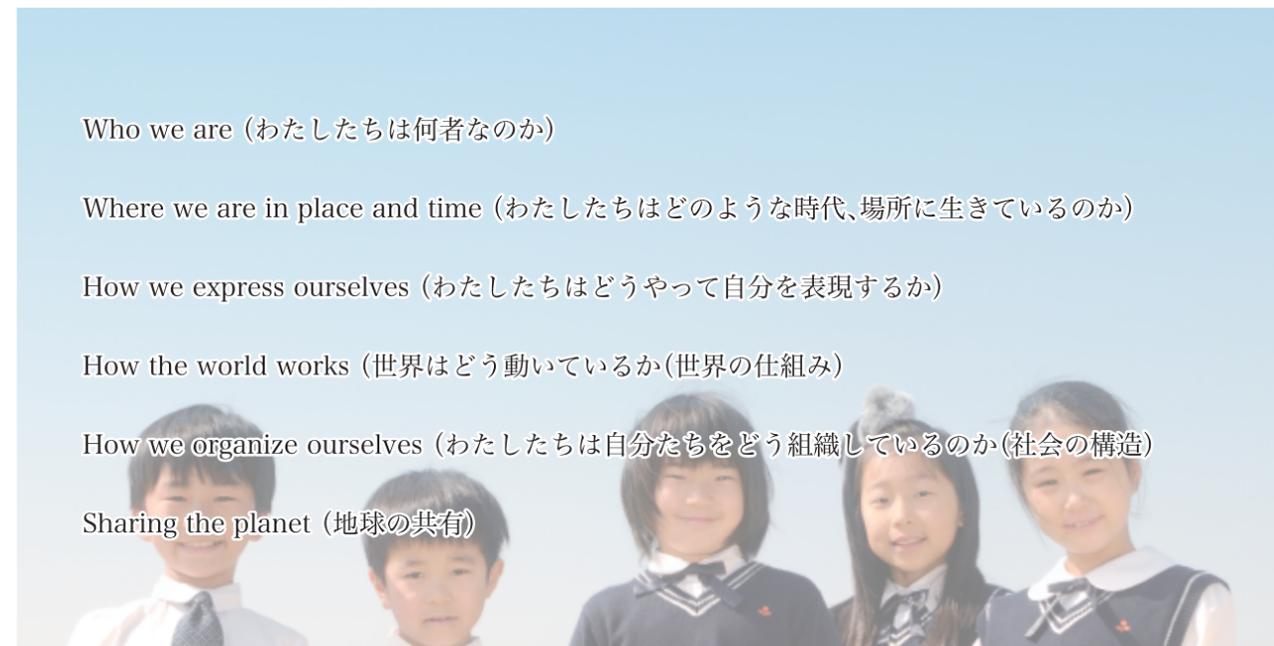
PYP (Primary Years Programme)／初等教育プログラム

PYP (Primary Years Programme)は3歳～12歳までを対象としており、精神と身体の両方を発達させることを重視しているプログラムである。

カリキュラムは「何を学びたいか」「どうしたら一番よく学べるか」「どうしたら何を学んだかわかるのか」という3つの質問を中心に構成され、どのような言語でも提供可能となっている。

という3つの質問を中心に構成され、どのような言語でも提供可能となっている。

PYPのカリキュラムの基礎には、以下の6つの学際的なテーマがある。



これらのテーマに取り組むべく、PYPのカリキュラムには、「概念・知識・技術・態度・行動」の5つの基本要素が

組み込まれており6つの教科を実施することとなっている。

IBの理念は全人教育にあり、以下の10の学習者像を目指している。

すべてのIBプログラムは、国際的な視野を持つ人間の育成を目指しています。

人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界の構築に貢献する人間を育成します。

▶IBの学習者として私たちは以下の目標に向かって努力します。

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い知識を探究します。地域社会やグローバル社会の重要な課題や考えに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のもの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正確に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見いだし、その経験を糧に成長しようと努めます。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりでまたは協力して新しい考え方や方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組めます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考慮します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

学園長 著書より

「頭脳」としてのカリキュラム

「これまでの学校教育が、社会や企業の求める人材を育てられているか」 この問いに対して私は、「ノー」という答えをだしました。だからこそ、自分で幼稚園をつくり、保育園を設け、学校を始めたのです。

しかし、理念だけで学園は運営できません。

学園創設から数年間、私は試行錯誤の連続でした。いまもそうかもしれません。

なかでも、もっとも時間と労力を注いだもののひとつに、保護者の方々との話し合いがあります。

言葉をつくり、事例をあげながら、私は学園の教育方針やプログラムについて繰り返し説明してきました。

しかし、いくら口で説明しても限界があります。

私たちの思いや試みを理解し、納得してもらうには、実績をつくっていくしかないのです。

学園の籍をつくっていくために、きわめて重要な役割を担っているのが「カリキュラム・ラボ」です。

ひと言でいえば、専門のスタッフで構成された関西国際学園の教育研究部門です。

その活動を説明するうえで、まずはカリキュラムという言葉そのものにふれておきます。

この言葉は、教科や教育課程、あるいは時間割などと訳されたりします。「なるほど、時間割を考えているのか」そう思われるかもしれません。たしかにそれも、カリキュラム・ラボの重要な役割のひとつです。

しかし、この研究所の機能はもっと多岐にわたっています。

カリキュラムという言葉を実義するなら、「ある教育の目的に応じてつくられた教育内容のことで、一定の学習期間内に目標を達成できるように計画された教育活動全般をさす」とでもいえばいいでしょうか。

ここには教科や時間割だけではなく、学習の目標、内容、指導の計画・方法、教材、評価などが含まれています。

カリキュラムの研究・考案のために、専門のスタッフをおいている幼稚園や初等教育機関は、国内でもほとんどないでしょう。

私たちがあえてそれをしているのは、教育システムをつくるうえで、カリキュラムづくりがきわめて重要な役割を担っているからです。

しかも、業務にあたっているのはネイティブの外国人とバイリンガルの日本人で、それぞれ国内外で専門教育を受け、実務経験を積んできたスタッフばかりです。

その意味では、カリキュラム・ラボは関西国際学園の「頭脳」といえる存在です。

具体的には、人材開発、研修、テクノロジー、教材開発の四つの部門で構成され、各部門にはラボ専任スタッフと担任クラスを持っている各部門の統括主任(乳幼児部、幼稚園部、初等部)が在籍しています。

最大の機能は、グループ系列校のカリキュラムを統一することにあります。

もちろん、ただたんに統一を図っているだけではありません。

世界各国の英語教育や多言語教育に関する教育理論や指導法を研究し、現場に取り入れているわけです。

最新の教育フィールドから集められたさまざまな教育プログラムは、ラボのスタッフによって詳細に調査・研究されます。いまどのような英語教育が主流なのか、バイリンガル育成の新しい手法やプログラムはどうなっているのか、それらの実績や科学的根拠はあるのかなど、ほんとうに多岐にわたるデータを集めています。

それらを有機的に組み替えながら、独自のカリキュラムをつくりあげていくのです。

いわば研究と実践を繰り返しながら、私たちのカリキュラムはつねに進化し続けています。

「子どもを英語バカにしない学校」 中村 久美子 著 ダイヤモンド社より